

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	強風のため飛び火により約64メートル離れた枯草に着火、発見が遅れれば付近の建物に延焼の恐れがあった事例
3. 体験した事例の中心的要素	枯草に着火延焼した時に、火災現場に駆け付けようとしていた消防団員が発見、付近の消防車に連絡し消止めたが、発見が遅れれば付近の建物に延焼する可能性が大きい場所であったこと。
4. 体験した事例の原因・理由	強風(定点観測風速8m/s)による想像を超えた飛び火の範囲と飛び火警戒要員が配置できなかつたこと。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。(延焼の広がりが思ったより早かつた等)
------------------	---------------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成27年3月2日 午前11時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外:出火建物(最盛期)消火中約64メートル離れた風下の枯草
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	その他:車両直近建物への延焼
7. 事例体験時の活動	火災現場活動中期、[木造建物]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	放水活動
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[58]歳、勤続年数[40]年、現場経験年数[40]年、階級[司令] 同様の活動〔頻繁〕、任務〔複数隊の隊長〕
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動〔 〕、任務〔 〕
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動〔 〕、任務〔 〕
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	強風で飛び火が	想像以上に飛散し、建物の陰となっていた枯草に着火延焼した。	
経過2			
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

他隊(員)から適切な注意を受けた

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかつた。	はい
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかつた。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かつた(寒かつた)。	いいえ
・野次馬が多かつた。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかつた。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた(適切な指示を与えられなかつた)。

・活動指示が得られなかつた。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあつた。	いいえ
・指示内容が実施困難であつた。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があつた。

強風と昼間の火災であったため、飛散する火の粉が目視することが困難であった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について